

昭和13年（1938年）阪神大水害

昭和13年 阪神大水害

阪神大水害の雨量：7月3日49.6mm、4日141.8mm、5日270.4mm、計461.8mm
1時間最大雨量60.8mm（5日）

神戸市における被害：死者616名、被災家屋約9万戸（住家流失1,410戸、埋没854戸、
倒壊家屋2,213戸半壊家屋6,440戸、床上浸水22,940戸、
床下浸水56,712戸）

摩耶山（摩耶観光ホテル下）山腹崩壊と市街地の状況



災害当時の状況（○印が摩耶観光ホテル）



現在の状況

摩耶山における治山工事

1925年(大正14年) に摩耶ケーブルが開業し、1929年(昭和4年) に「摩耶観光ホテル」も開業していたことから、戦時体制の当時においても早期の復旧が望まれており、都市化が進んでいた市街地の保全を図るため、昭和14～17年にかけて治山工事が実施された



災害当時の状況



現在の状況

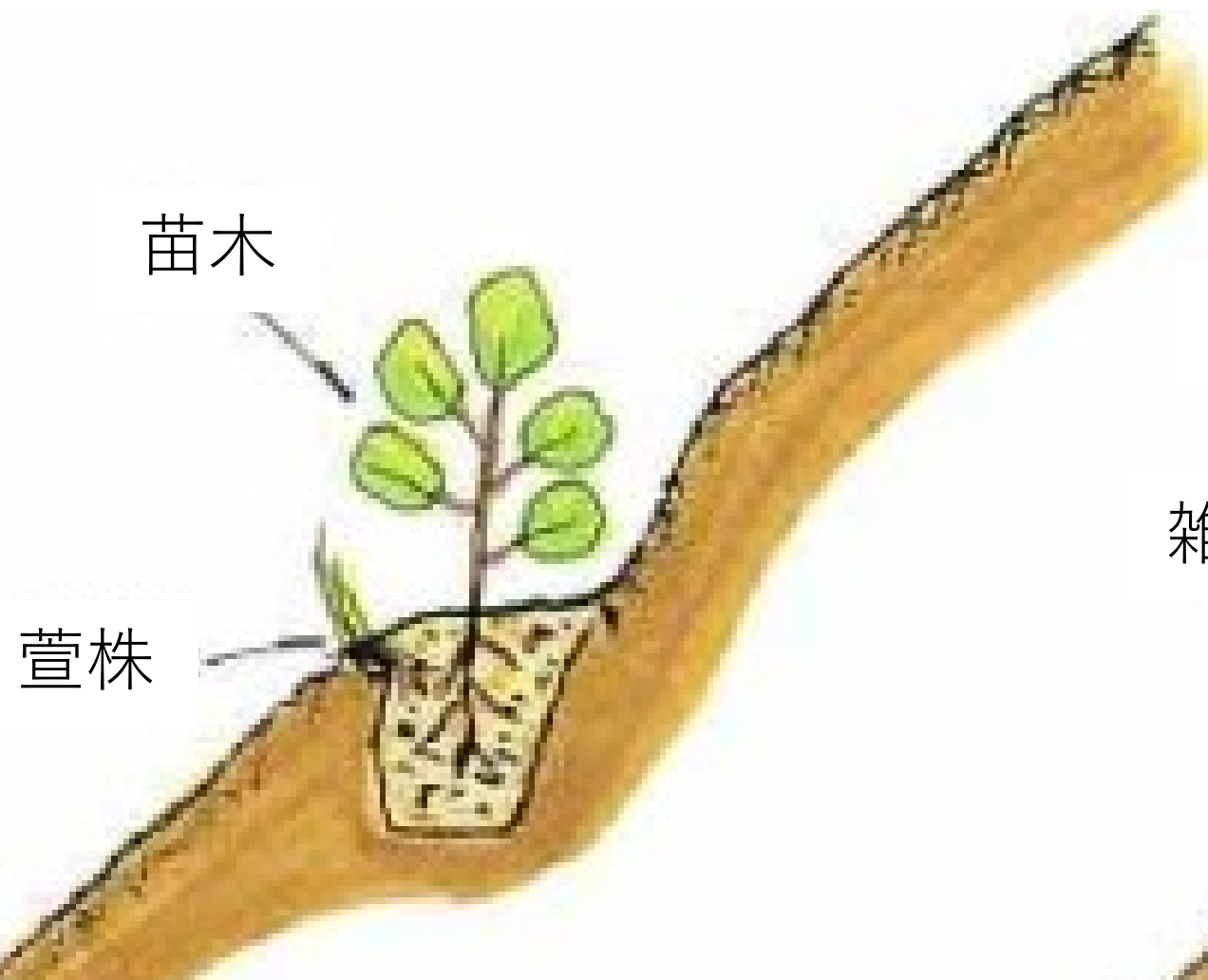


80年以上経過した現在の姿（石積護岸工・カツラ・イロハモミジ林）

当時の植栽工法



▲図4 段積み苗工



▲図5 萱筋工



▲図6 石筋工

現地で見られる様々な石積工

地形に応じて、高さ・延長の異なる石積工（植栽基礎）が残っている



高さ20cm～40cm



高さ50cm～70cm



高さ90cm～100cm